

1-01-298_高岡町附足軽・金子家文書(107件158点)

・本文が印刷で日付、差出、宛先のいずれかが手書きの場合は技法を印刷とした。

文書 101件115点

通番	仮No.	資料名称	年代	西暦	形態/ 技法	点数	枚数/ 丁数	差出(作成者)	宛先	備考
1	13	由緒并一類附帳	天明7年 7月	1787	縦帳	1	4	金子貫平	大橋長兵衛、澤田新兵衛	・大橋長兵衛は天明3.3.10～寛政3.1.25まで高岡町奉行 ・澤田新兵衛は天明7.3.22～寛政元.7.11まで高岡町奉行
2	10	由緒并一類附帳	享和元年 9月	1801	縦帳	1	6	金子貫平	荒木五左衛門、湯原長太夫	・荒木五左衛門は寛政7.9.19～寛政7.12、寛政9.3.7～文化6.12.25まで高岡町奉行 ・湯原長太夫は寛政11.8.14～享和2.12.18まで高岡町奉行
3	18	由緒并一類附帳	享和元年 9月	1801	縦帳	1	6	金子貫平	荒木五左衛門、湯原長太夫	荒木五左衛門、湯原長太夫は仮No.10、通No.2参照
4	9	由緒并一類附帳控	文化7年 11月	1810	縦帳	1	7	金子団右衛門	野村五郎兵衛、小堀八十太夫	・野村五郎兵衛は文化5.11.3～文政2.1.8まで高岡町奉行。 ・小堀八十太夫は文化7.3.22～文政4.5.22まで高岡町奉行
5	12	由緒一類附帳	文政2年 4月	1819	縦帳	1	4	金子団右衛門	野村五郎兵衛、小堀八十太夫	野村五郎兵衛、小堀八十太夫は仮No.9、通No.4参照。
6	2	御用方伝承聞見記	江戸末期		小横帳	1	104			寸法 7.9cm×17.8cm。 文政5年10月出来：古御城御郭内塩焔蔵高岡於手合御作事所より引請相達～等
7	7	由緒一類附帳	文政5年 12月	1822	縦帳	1	5	金子団右衛門	半田左門、大橋作之進	表紙「下物」 ・半田左(→)門は半田次右衛門景員カ、文政3.2.29～天保5.11.17まで高岡町奉行。 ・大橋作之進は文政4.6.14～天保9.7.18まで高岡町奉行。
8	6	大念寺新村吉左衛門唐国へ吹流され、帰国に付き御役所に於いて始末御札吉左衛門口書	文政10年 10月 16日	1827	縦帳	1	14	大念寺新村吉左衛門	御郡御奉行所	富山大学附属図書館所蔵 菊池文書目録2にKKB02550000「能州羽咋郡大念寺新村吉左衛門難船に逢、唐国江被吹流、唐国より長崎表へ送り来御札方口書」あり。
9	17	由緒并一類附帳	文政12年 2月	1829	縦帳	1	8	金子団右衛門	半田左(右カ)門、大橋作之進	半田左(右カ)門、大橋作之進は仮No.7、通No.7参照。
10	15	由緒一類附帳	天保9年 10月	1838	縦帳	1	8	金子貫右衛門	由比忠左衛門、脇田平之丞	表紙「下物」 ・由比忠左衛門は天保8.7.19～嘉永3.9まで高岡町奉行 ・脇田平之丞は天保9.8.11～天保13.4.26まで高岡町奉行
11	97	神流平法相伝に付日限等進めるにつき伺い状案文	庚戌初夏	(1850)	切紙	1		岸九郎右衛門	川端六左衛門、宮野一平、金子貫平、川端団右衛門	庚戌は1850年(嘉永3年)もしくは1910年(明治43年)。 ・宮野一平は宮野梅松園の初代 宮野一平氏(?～1912)カ
12	73	砲術修業者報知状	(安政元年)申 7月	(1854)	切紙	1		宮井吉左衛門、広瀬多三郎	金子貫右衛門	包紙2枚「免物/金子貫右衛門殿江」、「御題紙2通」 仮No.69～73、通No.12, 15～18は同包紙 ・【石川県立図書館所蔵「砲術稽古方指引申付状」、宮井吉左衛門・広瀬多三郎→金子治兵衛、嘉永5年12月6日】ありカ
13	8	由緒一類附帳控	安政2年	1855	縦帳	1	8	金子貫右衛門	不破亮三郎、奥村平蔵	表紙「不用の分」 ・不破亮三郎は嘉永7.4.18～安政4.8.29まで高岡町奉行 ・奥村平蔵は安政2.2.18～同2.12.13まで高岡町奉行

通番	仮No.	資料名称	年代	西暦	形態／技法	点数	枚数／丁数	差出（作成者）	宛先	備考
14	14	由緒一類附帳	安政5年カ	1858	縦帳	1	9	金子貫右衛門	長屋八内、加藤九兵衛	表紙「不用の分」 ・安政3年の控えを直し同5年指出した控にした附帳。宛先「不破亮三、岡田雄次郎」は見せ消し。 ・長屋八内は安政4.12.1～安政6.1.28まで高岡町奉行 ・加藤九兵衛は安政5.9.17～文久2.2.11まで高岡町奉行
15	70	小頭役申付け勤向并主附の義申渡し状	(安政6年)未4月20日	(1859)	切紙	1		加藤九兵衛	小頭金子貫右衛門方	仮No.69～73、通No.12、15～18は同包紙 加藤九兵衛は安政5年9月17日～文久2年2月11日まで高岡町奉行。
16	71	小屋入の者渡し方等の義に付き書状	(安政6年)未4月28日	(1859)	切紙	1		加藤九兵衛	小頭金子貫右衛門方	端裏ウハ書安政6年。 仮No.69～73、通No.12、15～18は同包紙
17	72	小頭役申付けたき旨御書取写しの通り才許方等綿密に勤めるべき報知状	(安政6年)己未4月	(1859)	切紙	1				端裏シタ書金子貫右衛門。 仮No.69～73、通No.12、15～18は同包紙
18	69	高岡町附足軽小頭欠役に付き代わりに同足軽金子貫右衛門小頭申付けたきにつき差出状	(安政6年)己未4月	(1859)	切紙	1				仮No.69～73、通No.12、15～18は同包紙
19	3	都而心覚記	江戸末期～明治初期		小横帳	1	30			寸法 8.4cm×18.3cm
20	79	万治より慶応まで高岡町奉行等役入日、俸禄、役替等記録	慶応4年～	1868～	継紙	1				300石：上村八左衛門(万治3年9月～延宝4年12月役替)等。高岡町奉行以外の人名もあり ・「御奉代」の袋あり
21	55	剣術中位の大事授与に付き酒1樽、赤飯等を頂き礼状	(江戸後期)11月8日		継紙	1		岸九郎右衛門	金子貫平、川端平内	
22	54	平法の奥義伝えるべく25.6日に訪れるに付き通知状	(江戸後期)4月20日		切紙	1		岸九郎右衛門	御人	
23	74	金銭覚え	江戸後期		切紙	2				包紙「戌12月 金山方御代紙覚書」 ・銀3両／高岡町附足軽一人／以上 1枚 ・金100疋／以上／1枚
24	1	秘書	江戸後期		横帳	1	37			金沢割場諸事方 代替兩人宛割場勤御用勤め等／諸組合紋等（村井又兵衛組、長大隈守殿組等）／
25	63	聖門十哲画并讃大江氏筆（写）	江戸後期～		縦帳	1	7			後聖顔子等
26	62	孔子誅少正卯弁	江戸後期～		切紙綴	1	3	永山平太		・少正卯（？一前496）は中国、春秋末期の魯の大夫。少正は官名、卯は名。当時「魯の閨人」（名を知られた声望の厚い人）と高く評価されていたが、紀元前496年、魯の司法・警察を統（す）べる大司寇に就任し宰相の職務を代行することとなった孔子に「政を乱す者」として誅殺された、と伝えられる。 ・永山平太（1815－1879）は幕末-明治時代の漢学者。加賀金沢藩士。西坂成庵、大島藍涯にまなび、江戸で安積良斎に師事、朱子学をおさめる。藩校明倫堂の講官をへて、維新後は藩の文学教諭。のち中学や師範学校でおしえた。名は平。字は政時。通称は平太。別号に椿園。著作に「北征日記」「家司職制」など。（講談社デジタル版 日本人名大辞典+Plus）
27	20	前田利長、前田知好等系図一部	(江戸後期～)		継紙外れ	1				前、中、後欠

通番	仮No.	資料名称	年代	西暦	形態/ 技法	点数	枚数/ 丁数	差出(作成者)	宛先	備考
28	11	由緒一類附帳	明治2年 9月	1869	縦帳	1	9	金子貫右衛門	御割場	表紙「不用反古の分」
29	16	由緒一類附帳	明治3年 3月	1870	縦帳	1	8	金子貫右衛門	卒族方	表紙「此控要用」 卒族は明治初期、軽輩武士に対する身分的 呼称。明治5年(1872)世襲であった者を士 族、1代限りの者を平民に編入して廃止。 卒。(小学館デジタル大辞泉2025.12.03)
30	66	金子安定家内出処誕生 日御届之事	明治6年 2月	1873	切紙	1				紙片添付1枚
31	100	金子安定禄高	明治10 年8月24 日	1877	切紙	1		朱文方印「石川県 第四大区之印」	金子安定	包紙:「明治10年8月25日金禄高名簿 金 子」
32	82	金子米次郎23年2ヶ月 までの履歴書	明治11 年11月	1878	罫紙	1		金子米次郎		
33	4	命令記(2)	明治11 年8月～	1878～	縦帳	1	69			表:明治5年8月改焉/裏:金子安 第17大 区小3区堀上町5拾4番屋敷 士族金子安定」 士族卒給録十分ノ一を引去り貯財方法等概 略等 ・「か六十分一御渡願之事」案文1枚、「職 獵願/明治13年11月/金子米次郎」1枚挟み 込みあり
34	94	金子安定履歴	明治15 年～	1882	切紙	1				本文より:金子安定(文化11年～明治10有5 年)は旧金沢藩士小原甚五兵衛の弟。金子団 右衛門の養子となり団右衛門二女と婚し天 保2年10月、金子氏第7世の家督を継いだ。 砲術を極め同組の指南の許可を得、維新後 は藩兵支配方を拝命した。明治15年11月19 日卒。享年68年1か月。
35	76	宝珠院送物分配并遺言 状(写)	明治19 年8月30 日	1886	横半 帳	1	2	金子		あわせ、浴衣等各人仕分け記
36	64	宝珠院納骨式諸事録	明治19 年8月20 日～	1886	横半 帳	1	5			明治19年8月20日卒去
37	89	(金子米人)履歴書草 稿	明治20 年頃カ	1887	罫紙 綴外 れ	1				履歴者不明。明治12年6月18日八等訓導嘱任 育英校勤務、同19年10月23日任富山県上新 川大成小学校校長兼菊芳小学校長、明治25年 高岡市育英校へ転等。 金子米人履歴書草稿カ。
38	57	尋常小学科第一学期修 業証書	明治23 年3月28 日	1890	用紙 /印 刷	1		富山県尋常師範学 校校長三宅五郎三郎 (朱文方印「富山 県尋常師範学校長 三宅五郎三郎」)	富山県士族 金子み どり	右:朱文方印「富山県尋常師範学校所属小 学校」/第39号 三宅五郎三郎は京都府立図書館初代館長。
39	65	浄法院33回忌、宝珠院 7回忌、紅玉院7回忌法 会記事帳	明治24 年6月15 日～	1891	横半 帳	1	4			明治24年6月15日執行
40	58	尋常小学科第二学期修 業証書	明治24 年3月26 日	1891	用紙 /印 刷	1		富山県尋常師範学 校校長三宅五郎三郎 (朱文方印「富山 県尋常師範学校長 三宅五郎三郎」)	富山県士族 金子み どり	右:朱文方印「富山県尋常師範学校所属小 学校」/第70号

通番	仮No.	資料名称	年代	西暦	形態/ 技法	点数	枚数/ 丁数	差出(作成者)	宛先	備考
41	60	尋常小学科第三学期修業証書	明治25年3月30日	1892	用紙/ 印刷	1		富山県富山市潜克小学校校長菅秀之助(朱文方印「校長菅秀之助」)	士族 金子みどり	右:朱文方印「富山県富山市潜克小学校印」/第14号
42	59	裁縫科第二学期卒業証書	明治25年3月30日	1892	用紙/ 印刷	1		富山県富山市潜克小学校校長菅秀之助(朱文方印「校長菅秀之助」)	金子みどり	右:朱文方印「富山県富山市潜克小学校印」/第14号
43	91	金子米人履歴書	明治25年以降	1892~	罫紙綴	1	5			資料より金子米人は安政3年9月4越中高岡生。明治19年10月23日富山県上新川郡大成小学校長、兼菊芳小学校長等歴任。
44	61	尋常小学校修業年限4ヶ年卒業証書	明治26年3月30日	1893	用紙/ 印刷	1		富山県高岡市立育英尋常高等小学校校長金子米人(朱文方印「高岡市育英尋常高等小学校長金子米人」)	富山県士族 金子みどり	中央:朱文方印「富山県高岡市育英尋常高等小学校印」/第15号
45	21	明治26季4月より半年間皆出席につき奨励状	明治26年10月30日	1893	賞状	1		富山県高岡市長堀二作(朱文方印「富山県高岡市長堀二作」)	高岡市育英尋常高等小学校生徒 金子みどり	金子みどり(みどり)は明治16年3月生・堀二作(1849-1939)は明治時代の農事改良家、政治家。第3代高岡市長(明治25.11.8~同31.11.7)。明治23-41年富山県射水郡横田村の村長。29年庄川の氾濫で全村流失したが、復旧につとめ治水、道路の改修、耕地整理などの工事を推進。その間、23年県会議員となり、25年県会議長、高岡市長を兼任した。越中(富山県)出身。本姓は石黒。(講談社デジタル版 日本人名大辞典+Plus参照、高岡市HP) 高岡市育英尋常高等小学校(明治25~同28年)は明治5年の学生発布を受けて東之学校、中之学校等5校が統合されてできた育英小学校が前身。後に同33年(1900)の高岡大火で校舎が焼失し、高岡高等小学校等に分離された。
46	40	富山県高岡市立育英尋常高等小学校修業証書	明治27~29年	1894	用紙/ 印刷	3		富山県高岡市立育英尋常高等小学校	富山県士族 金子みどり	第1学年:明治27年3月31日修業証/第2号 第2学年:明治28年3月27日修業証/第2号 第3学年:明治29年3月27日修業証/第1号
47	25	明治27季4月より半年間皆出席につき奨励状	明治27年10月30日	1894	賞状	1		富山県高岡市長堀二作(朱文方印「富山県高岡市長堀二作」)	育英尋常高等小学校生徒 金子みどり	堀二作は仮No.21を参照
48	23	明治26年4月より1学年間皆出席につき奨励状	明治27年7月7日	1894	賞状	1		富山県知事正5位勲5等徳久恒範(朱文方印「富山県知事徳久恒範」)	高岡市育英尋常高等小学校生徒 金子みどり	・徳久恒範(1844-1910)は明治時代の官僚。第4代富山県知事(1892.8.20~1896.4.11まで)。天保14年12月28日生まれ。徳久恒敏の兄。もと肥前佐賀藩士。維新後、富山、香川、熊本、広島各知事を歴任し、明治37年貴族院議員となった。(講談社デジタル版 日本人名大辞典+Plus参照、富山県HP)
49	24	明治27季10月より半年間皆出席につき奨励状	明治28年5月27日	1895	賞状	1		富山県高岡市長堀二作(朱文方印「富山県高岡市長堀二作」)	高岡尋常高等小学校生徒 金子みどり	堀二作は仮No.21、通No.45を参照
50	22	明治28季4月より半年間皆出席につき奨励状	明治28年10月29日	1895	賞状	1		富山県高岡市長堀二作(朱文方印「富山県高岡市長堀二作」)	高岡尋常高等小学校生徒 金子みどり	高岡尋常高等小学校(明治28~同34年)は明治5年の学生発布を受けて東之学校、中之学校等5校が統合されてできた育英小学校が前身。後に同33年(1900)の高岡大火で校舎が焼失し、高岡高等小学校等に分離された。
51	27	明治28年4月より1学年間皆出席につき奨励状	明治29年6月5日	1896	賞状	1		富山県知事正5位安藤謙介(朱文方印「富山県知事印」)	富山県高岡市尋常高等小学校生徒 金子みどり	安藤謙介(1854-1924)は明治-大正時代の官僚、政治家。第5代富山県知事(1896.4.11~1897.4.7まで)。ロシア語をまなび、外務省にはいる。検事をへて、富山、千葉の県知事となる。明治36年衆議院議員。のち愛媛、長崎、新潟の各県知事を歴任し、横浜、京都の市長をつとめた。土佐(高知県)出身。(講談社デジタル版 日本人名大辞典+Plus、富山県HP参照)

通番	仮No.	資料名称	年代	西暦	形態/ 技法	点数	枚数/ 丁数	差出(作成者)	宛先	備考
52	84	小学校生徒奨励規則により1等賞授与状	明治29年9月15日	1896	用紙/ 印刷	1		富山県知事正5位安藤謙介(朱文方印「富山県知事印」)	富山県高岡尋常高等小学校生徒金子美土里	安藤謙介は仮No.27、通No.51参照
53	26	明治29季4月より半年間皆出席につき奨励状	明治29年10月26日	1896	賞状	1		富山県高岡市長堀二作(朱文方印「富山県高岡市長堀二作」)	高岡尋常高等小学校生徒 金子みどり	堀二作は仮No.21、通No.45を参照
54	41	富山県高岡市立高岡尋常高等小学校修業年限4ヶ年卒業証書	明治30年3月27日	1897	用紙/ 印刷	1		富山県高岡市立高岡尋常高等小学校訓導金子米人(朱文方印「金米人印」)	富山県士族 金子みどり	右:朱文方印「富山県高岡市立高岡尋常高等小学校」/第1号
55	56	金子米人履歴書控	明治31年頃	1898	罫紙綴	1	9			明治31年12月市役所へ更に2通認め出す。32年9月1日本県へ1冊呈出するも焼失。
56	93	給与及び富山県師範学校合格等通知書	明治32～38年	1899～1905	罫紙等	10				封筒3枚あり ・未記入明治26年入学試験日割1枚 ・京都府へ移住同府小学校へ就職許可状/明治38年5月16日/富山県知事李家隆介→金子美土里 1枚 ・女子高等師範学校入学許可予定に付通知状/明治36年3月7日/富山県内部→金子美土里 1枚 ・給与状/明治35年等/富山県→金子美土里 3枚 ・明治36年1月10日付願い旅行の件聞き届け状/明治36年1月13日/富山県知事李家隆介→高岡女子高等小学校訓導金子美土里 1枚 ・受験人心得1枚 ・入学許可状/明治36(2)年7月24日/富山県師範学校→金子美土里 1枚 ・合格通知状/明治32年3月7日富山県師範学校→金子美土里 1枚
57	81	富山県管内小学校本科正教員免許状	明治35年3月28日	1902	用紙/ 印刷	1		富山県知事正5位勲4等小倉久(朱文方印「富山県知事印」)	富山県師範学校卒業生金子ミドリ	日付上に朱文方印「富山県印」/第48号 ・小倉久(1852-1906)は明治時代の官僚。第10代富山県知事(明治35年2月8日～明治35年12月30日)。 もと上野(群馬県)沼田藩士。はじめ大学南校にまなび、フランスに留学。帰国後、司法省、太政官、元老院などにつとめた。のち大阪控訴院検事となり、和歌山県、富山県、岐阜県の知事も歴任した。
58	68	富山県師範学校卒業証書	明治35年3月28日	1902	用紙/ 印刷	1		富山県師範学校校長従7位赤木萬次郎(朱文方印「富山県師範学校校長之印」)	富山県士族 金子ミドリ	右上に朱文方印「富山県師範学校」/第188号 ・赤木万次郎は明治元(1868)年7月生まれ。富山県師範学校校長等を歴任し大正13(1924)年兼任朝鮮總督府視學官に任ぜられた。
59	86	富山県高岡市高岡女子高等小学校訓導正教員勤務状	明治35年5月19日	1902	用紙/ 印刷	1		朱文方印「富山県印」	金子みどり	
60	87	休職命じ状	明治36年3月31日	1903	用紙/ 印刷	1		富山県	高岡市女子高等小学校訓導金子みどり	
61	78	香典帳	明治36年9月18日	1903	横帳	1	9	金子		
62	77	忌中諸事控帳	明治36年9月18日	1903	横帳	1	10	金子		金子米人カ
63	67	好学院直道日証居士案内状発送控	明治36年9月18日～	1903	横帳	1	5			明治36年9月18日永眠

通番	仮No.	資料名称	年代	西暦	形態/ 技法	点数	枚数/ 丁数	差出(作成者)	宛先	備考
64	33	金子米人履歴書控	明治36年～	1903～	罫紙綴外れ	1				端書「教育会へ控」 ・金子米人は安政2年9月生まれ、明治36年9月18日在職中死亡
65	28	富山県高岡市油町尋常小学校訓導本科正教員勤務任じ及び9級下俸状	明治37年1月12日	1904	賞状	1		朱文方印「富山県印」	休職富山県高岡市女子高等小学校訓導金子美土里	富山県高岡市油町尋常高等小学校は現・高岡市立成美小学校。
66	88	京都府管内に於て小学校本科正教員免許状	明治38年3月31日	1905	用紙/印刷	1		京都府知事従3位勲2等大森鍾一(朱文方印「京都府知事之印」)	富山県士族金子美土里	第1115号 ・大森鍾一(1856-1927)は明治-大正時代の官僚。造兵司,陸軍省,司法省をへて,明治13年太政官権書記官。長崎県,兵庫県,京都府の知事などをつとめ,大正4年大正天皇即位大礼事務官。のち皇后宮大夫となり枢密顧問官もかねた。駿河(静岡県)出身。講談社デジタル版 日本人名大辞典+Plus
67	80	京都府出向命令状	明治38年5月16日	1905	用紙/印刷カ	1		富山県	高岡市油町尋常小学校訓導金子美土里	富山県用紙使用
68	44	京都府京都市乾隆尋常高等小学校訓導尋常科正教員勤務任命状	明治38年5月30日	1905	用紙/印刷	1		朱文方印「京都府印」	富山県高岡市油町尋常小学校訓導金子美土里	京都市乾隆尋常高等小学校は仮No.43を参照。
69	43	月俸給与状	明治38年5月30日	1905	用紙/印刷	1		京都府	京都市乾隆尋常高等小学校訓導金子美土里	京都市乾隆尋常高等小学校は現・京都市立乾隆小学校。
70	31	8代金子米人略歴	明治38年12月22日	1905	切紙	1		金子美土里		朱筆修正箇所あり
71	83	職務勤勉に付き慰労金下賜状	明治38年12月26日	1905	用紙/印刷	1		京都府	京都市乾隆尋常高等小学校訓導金子美土里	京都府庁辞令用紙使用
72	46	月俸給与状	明治39年6月5日	1906	用紙/印刷	1		京都府	京都市第一高等小学校訓導金子美土里	
73	45	京都府京都市第一高等小学校訓導本科正教員勤務任命状	明治39年6月5日	1906	用紙/印刷	1		朱文方印「京都府印」	京都市乾隆尋常高等小学校訓導金子美土里	京都市第一高等小学校は仮No.42を参照。
74	47	月俸給与状	明治39年7月31日	1906	用紙/印刷	1		京都府	京都市第一高等小学校訓導金子美土里	
75	48	月俸給与状	明治40年4月30日	1907	用紙/印刷	1		京都府	京都市第一高等小学校訓導金子美土里	
76	49	月俸給与状	明治41年11月30日	1908	用紙/印刷	1		京都府	京都市第一高等小学校訓導金子美土里	
77	50	月俸給与状	明治44年3月31日	1911	用紙/印刷	1		京都府	京都市第一高等小学校訓導金子美土里	
78	51	年功加俸通知状	明治44年7月30日	1911	用紙/印刷	1		京都府	京都市第一高等小学校訓導金子美土里	
79	99	慰労金給与状	明治44年12月21日	1911	用紙/印刷	1		京都市役所	京都市第一高等小学校訓導金子美土里	京都市役所辞令用紙使用
80	90	小児教育病理学、手工科、民族伝説学科修了証	明治44年12月30日	1911	用紙/印刷	1		京都府教育長正3位勲1等大森鍾一(朱文方印「京都府教育会長之印」)	金子美土里	

通番	仮No.	資料名称	年代	西暦	形態/ 技法	点数	枚数/ 丁数	差出(作成者)	宛先	備考
81	98	慰労金給与状	大正元年12月16日	1912	用紙/ 印刷	1		京都市	京都市第一高等小学校訓導金子美土里	京都市辞令用紙使用
82	52	月俸給与状	大正2年4月30日	1913	用紙/ 印刷	1		京都府	京都市第一高等小学校訓導金子美土里	
83	53	月俸給与状	大正4年9月8日	1915	用紙/ 印刷	1		京都府	京都市第一高等小学校訓導金子美土里	
84	42	市町村立小学校教員退職料及遺族扶助料法により給与状	大正4年9月30日	1915	用紙/ 印刷	1		京都府	元京都市第一高等小学校訓導金子美土里	京都市第一高等小学校は現・京都市立上京中学校。
85	75	大阪市難波第一尋常高等小学校代用教員命じるに付き月給通知状	大正5年3月31日	1916	用紙	1		大阪市役所(朱文方印「大阪市役所」)	金子ミドリ	・大阪府大阪市難波第一尋常高等(小学校)は現・大阪市立難波元町小学校。
86	39	大阪府大阪市難波第一尋常高等小学校訓導本科正教員に任じ7級下俸支給状	大正5年6月19日	1916	用紙/ 印刷	1		朱文方印「大阪府印」	金子ミドリ	大阪府大阪市難波第一尋常高等(小学校)は通No.86参照。
87	102	金子美土里履歴書	大正5年～	1916～	用紙	2				・明治35年3月28日～同40年4月30日まで ・大正4年9月30日～同5年3月31日まで
88	32	俗名ふみ死去案内状控	大正6年3月1日～	1917	横帳	1	3			ふみ大正6年3月1日往生、当年58歳
89	37	大阪府大阪市難波第一尋常高等小学校訓導7級下俸支給書	大正7年5月1日	1918	用紙/ 印刷	1		大阪府	大阪府大阪市難波第一尋常小学校訓導金子ミドリ	・大阪府大阪市難波新川尋常小学校は仮No.35参照
90	95	7級上俸支給書	大正8年4月30日	1919	用紙	1		大阪府	大阪府大阪市難波第一尋常高等小学校訓導金子ミドリ	
91	96	7級上俸支給書	大正10年4月30日	1921	用紙	1		大阪府	大阪府大阪市難波新川尋常高等小学校訓導金子ミドリ	
92	35	大阪府大阪市難波新川尋常小学校訓導6級下俸支給書	大正11年11月30日	1922	用紙	1		大阪府	大阪府大阪市難波新川尋常小学校訓導金子ミドリ	・大阪府大阪市難波新川尋常小学校は現・大阪市立難波元町小学校。
93	36	大阪府大阪市難波新川尋常小学校訓導6級上俸支給書	大正13年10月31日	1924	用紙	1		大阪府	大阪府大阪市難波新川尋常小学校訓導金子ミドリ	大阪府辞令用紙使用 ・大阪府大阪市難波新川尋常小学校は仮No.35参照
94	38	退職命じ状	大正15年9月25日	1926	用紙/ 印刷	1		大阪府	大阪府大阪市難波新川尋常高等小学校訓導金子ミドリ	・大阪府大阪市難波新川尋常小学校は仮No.35参照
95	34	金子ミドリ履歴書	大正15年10月15日	1926	野紙綴	1	3	金子ミドリ		・金子ミドリは明治16年3月23日生まれ
96	101	金子ミドリ履歴書	大正15年10月15日	1926	野紙綴	1	3	金子ミドリ(金子印)		明治35年3月28日～大正15年9月25日まで

通番	仮No.	資料名称	年代	西暦	形態／技法	点数	枚数／丁数	差出（作成者）	宛先	備考
97	92	在職中職務格別勲励に付給与通知状	大正15年11月18日	1926	罫紙	2		大阪市長 関一	元大阪府大阪市難波新川尋常小学校訓導金子ミドリ	封筒あり 通知状添状／11月22日／大谷弥三→金子みどり 1枚 ・関一(1873～1935)は社会政策学者・都市行政家。静岡の生まれ。第7代大阪市長(大正12年11月30日～昭和10年1月26日)。東京高等商業学校教授、大阪市長、貴族院議員などを歴任。社会政策を研究したが、招かれて大阪市助役・市長を務め、大阪港整備、市営住宅・公設市場建設など社会資本の拡充に尽力。著作に「労働者保護法論」「住宅問題と都市計画」など。
98	85	広瀬氏執筆の新聞切抜き貸出し願い状	(近代)2月21日		便箋／ペン	1		国沢	金子	
99	30	選朱文公語等古人有言	(近代)		継紙	1				壺、人物、卷子等絵図あり
100	19	「三餘々興」竹富主人刀作印帳	近代		堅帳	1	22			・「米人／小学校長金子米人印」等印帳表紙破れ
101	5	岡本慶雲より長見右衛門尉へ送書写	9月15日		堅帳	1	42	岡本慶雲	長見右衛門尉	利家公越前府中の知行下さる面々、天正12年頃の利家記等 ・岡本慶雲ははもと佐々成政の家臣で、末森の戦い前から利家に仕えたとしづ。末森記は、慶雲が越前藩士長見右衛門尉に請われて書きまとめ、送ったものと伝えられている。

その他 6件43点

通番	No.	資料名称	年代	西暦	形態／技法	点数	枚数／丁数	差出（作成者）	宛先	備考
102	107	女性と子供の写真	明治23年2月	1890	写真	1				「明治23年2月下旬初テ写真術ヲ学ヒシ時写セシモノナリ時富山□嶋書中嶋氏に写ス…」
103	29	紙本墨画竹図	戊戌(明治31年／昭和33年)	1898	まくり	1		□□世		「窓前数竿竹不雨亦蕭々／戊戌歳晚□□世書／白文方印「管□」朱文方印「細ニ□□」」 破れあり
104	103	鹿の子紋、柳紋等紋り方説明	近代		用紙／印刷	1		合名会社桐山商店 家庭部		
105	105	紙本墨画（下図）			切紙	29				獅子、鳳凰、菊図等
106	104	紙本墨画			半紙	8				鉄瓶、硯、桜図等
107	106	梵字図等刷物			切紙	3				包紙あり